

剣山山行

山行日：2020年11月7日（土）～8日（日）

班名：ここゆめ班

参加者：Yさん（CL）、Hさん（SL）、Sさん（会計）、Kさん 以上ここゆめ

記述：Yさん

コース：11月7日（土）U建築研究所9：30－和歌山港10：35（南海フェリー）

徳島港12：50－民宿まつうら（宿泊）15：30－奥祖谷かずら橋

11月8日（日）起床6：00－見ノ越7：00－西島駅7：45－刀掛けの松8：00

頂上ヒュッテ8：20－剣山山頂8：40－ジロウギユウ峠9：15

次郎笈9：50－西島駅11：20－見ノ越12：00－徳島港16：30

和歌山港18：35

今回の剣山山行は、思いがけないキャンペーンによって計画されました。そのキャンペーンとは、南海フェリー運賃半額キャンペーンです。このキャンペーンは10/1～12/30の間に車でフェリーに乗って和歌山県か徳島県に泊まると運賃が半額になるというものです。あいにく4名しか集まりませんでしたが決行することになりました。

【和歌山港】

和歌山港で乗客3名+車両代（運転手込み）16,200円払えば、帰りはタダです。行程ですが、我々には珍しい前日泊山行のため、集合が9：30AMという遅い集合です。また、フェリー利用により2時間余りで和歌山港から徳島港に到着です。手足をくつろぐ事ができました。



下船後、お昼を過ぎていたので、早速近くの中華そばやで肉そばを食べて腹ごしらえ。

【民宿まつうらと登山口】

徳島から徳島道に乗って美馬まで。市街地を抜け、その後、延々くねくねの山道を登り続けること約2時間。3：30PM無事民宿まつうら到着。民宿まつうらは、登山口に一番近い宿で、近隣の宿は、全て休業。

（登山口まで徒歩10秒）

民宿は、ご主人と奥さん、そして息子さんの3人で経営。残念ながら、GO TOトラベルには参加していませんでした。1泊2食で7,000円。



Sさんが民宿のご主人に聞いたところ、
「車で15分の所に奥祖谷の二重かずら橋があり、
こちらのかずら橋のほうが良い」との事で早速向かう。
この橋は、平家一族が剣山の「平家の馬場」に通う
ために架けられたといわれ、男橋（おぼし）と女橋
（めばし）の二本あり、夫婦橋（めおとぼし）とも
呼ばれているそうです。
料金は、大人550円、中学生以下350円、幼児は無料。

場内にトイレや炊飯場を備えたキャンプ場があり
1名テント泊の準備をしていました。



【かずら橋 男橋(おぼし)】

近くに野猿があり、H・K組とS・Y組
に分かれて楽しみました。



【野猿を楽しむH・K組】

民宿到着後、宿の主人に「お風呂今なら空いてるので今のうちに入った方がいい。10人のグループがかずら橋を見に行っている。彼らが帰ってくると入れないよ。」との事。
男女交代で入浴。風呂は、浴槽が2つ。家庭風呂を大きくした感じ。いい湯でした。

当日の宿泊は、3組。我々4名と神戸大学ワンダーフォーゲル部の男女10名、2名の男性。
我々の部屋は16畳の和室。1人4畳を使いソーシャルディスタンスをキープ。10名の大学生グループも2名ずつ5部屋に分散。新型コロナウイルス感染症の影響でみなさん気を使っていました。

夕方からあいにくの雨もよう。当初は小雨の雨も夜中には本降りになってきました。
予報ではそろそろ回復するはずなのに心配です。

夕食後、部屋に戻り就寝。

2日目、6時起床。心配した天候も雨が上がり、快晴とは言えませんが一安心。みなさん剣山へ登るようで6時半には宿泊客全員で朝食をとりました。

7時、出発。
宿の前が登山口。大剣神社へ向かう階段です。

【リフト下のトンネル】



7:45AM、標高1700m、西島駅到着。相変わらず、リフトは動いておらず人はほとんどいません。雲はあるものの、青空ものぞいてきました。展望も良好です。



【剣山登山口】

←トンネルの上にリフトのケーブルが見えます。まだ動いていません。



【西島駅】



【西島駅からの展望】

8:30AM、刀掛けの松到着。
安徳帝が剣山へ登る途中、この場所で休んでいた時、汗だくで宝剣を持ち続けている従者に気遣い、松の枝に宝剣を掛けて汗を拭くよう言葉をかけられたそうです。それ以来、この場所を「刀掛けの松」と呼ぶようになったと言われています。

【刀掛けの松】





【頂上ヒュッテ】

ヒュッテと剣山本宮宝蔵石神社の間を抜け山頂へ。

【ヒュッテと神社の間の頂上への階段】→



9:00 頂上ヒュッテ到着。
ヒュッテの人曰く
「昨日は、随分天気が悪かったけど
今日は、晴れてよかったですね」

ヒュッテから木道を歩いて10分足らずで山頂に到着。残念ながら、ガスの為背景がありません。とりあえず、集合写真をパチリ！



【剣山山頂で記念写真】

剣山頂上は、展望がないので記念写真をとったら直ぐに出発。目指すは次郎笈。

ところが、残念ながら次郎笈は雲の中。本来なら、笹の間に続く登山道と山頂が望めるはずなのですが・・・



9:50AM 次郎笈（標高1930m）に到着。

ゆっくりくつろごうと思ったとたんウェストポーチが無いことに気付く。ポーチの中には、車の鍵、財布等々が入っています。家に帰れません。

周りを見渡しましたがありません。最後にポシェットを触ったのは剣山山頂付近。



慌てふためいてすぐに出発。可能性は山頂のトイレか頂上の記念写真を撮った場所。歩きながら、頂上ヒュッテに連絡。従業員の方が「トイレと付近を探してきます。その後、携帯に連絡します。」との事。とりあえず、進むしかありません。ジロウギウ峠からの登り返しを考えると気が滅入りますが、そんなことは言ってもらえません。

10:13AM ヒュッテからの着信。

「トイレにはありませんでしたが、登山者が頂上で拾って届けてくれました。こちらで預かっているのでヒュッテまで取りに来て下さい。」

景色を見る余裕もなく歩いてきましたが、後ろを振り向くと、先ほどまでの雲が消え、素晴らしい景色が広がっていました。



ジロウギウ峠で、剣山へ登り返す組と西島駅へ下る組に分かれる。

いくら登りがきらいな私も登らない訳にはいきません。

重い足を一步一步前に進めていきます。ただ、先ほどまでの不安が嘘のように気持ちは晴れやかです。

頂上ヒュッテでウェストポーチを受け取り、後は下るのみ。Kさんと二人、猛スピードで西島駅まで。

11：20AM 西島駅に到着。

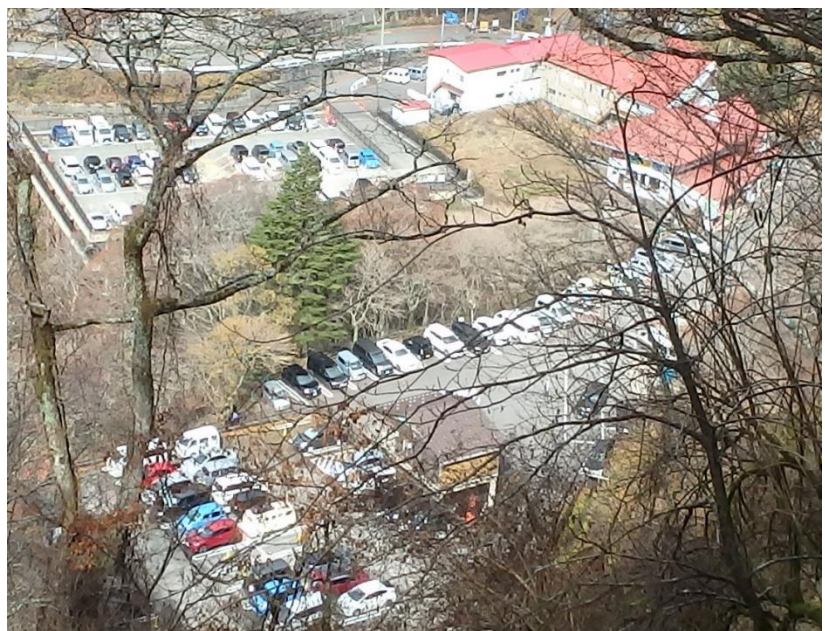
う回路を下ったHさんとSさんはすでに到着済。



【西島駅】

再び4人そろって下山開始。

途中で駐車場を見下ろすと登山開始時には、ほとんど車などなかったのに、100台以上の車が駐車しています。民宿も営業は今週までの事なので、今年最後の行楽に訪れたようです。



【満車になった駐車場】

大剣神社へお参りして
12：00PM 見ノ越到着。

下山後、民宿で作ってもらったおにぎりを民宿の食堂で食べさせてもらいました。サービスで卵とじのお味噌汁も作っていただきました。

宿の浴室で着替えさせていただき、徳島港に向けて出発。

【徳島港】

道の駅に立ち寄った後、再び徳島道を利用して徳島港へ。

16：30、徳島港出港。 18：35 和歌山港着。

ウェストポーチ紛失のトラブルありましたがそれ以外は楽しい山行でした。参加者の皆さん、お騒がせしました。

